

照明具展

クスのキ

October

紙は「かみ」なりに、光は「ひかり」なりに…素材が生きたい様に活かしきること。
活かされた「かみ」や「ひかり」はちょうど自然の中の木や草や動物たちがそうであるように、
いきいきと自由で伸びやかです。そこには自然のすべてがあります。
そんな中で私たちは、自分たちもまた自然の一部であることを思い出します。
そして不思議と嬉しくなったりリラックスするものなのです。
あるべきものがあるべき形で、いきいきとそこにある…
できる限り素材に無理をさせずに、つくり無理のないデザイン…
そんな照明デザインを造ります。

————— クスのキヒデオ

伊丹市立工芸センター

2016年 1.9 [土] - 1.31 [日]

会期中月曜休館(祝日の場合翌日)・入場無料
10:00-18:00 (入館は17:30まで)

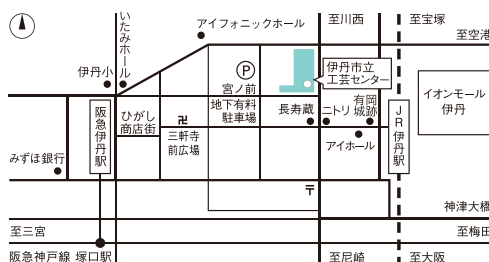
クスのキヒデオは「和紙を使った照明具」を手がける作家です。作品はすべて「和紙という素材、照明具という目的」で作られたものですが、その限定された条件の中から、実に多様な「あかり」が生み出されます。洗練されたフォルムと、光のグラデーションが作り出す美しい風情を、私たちはいつまでも飽きることなく見ていられることでしょう。生活の中で使用できる道具であるとともに、空間とそこに住まう人の心を彩る存在。そんなクスのキヒデオの照明具の世界をお楽しみください。

楠 秀男 *Kusunoki Hideo*

- 1950 京都市山科に生まれる。
- 1968-75 京都市立芸術大学西洋画科構想設計在籍。油絵、版画、彫刻、デザインを学ぶ。
- 1970-88 京都、大阪、東京などで金属を素材とした現代美術作品の個展、グループ展などを開催。
- 1972-81 インテリア、ディスプレイ、テキスタイル デザイン、写真技術などの仕事に携わる。
- 1981 プロデュース集団 TAO-ORIENTATION を設立。「デザイン」をテーマにアート、建築、ファッションなどについて研究、レクチュアを行う。建築デザイン、工業デザインを手掛ける。
- 1984 イグジビションスペース「GARDEN」の設立に参加、プロデュースする。
- 1988より 和紙を素材とした「照明具」を制作。各地で個展、グループ展を開催。

[Events]

- 01、「クスのキヒデオ アーティストトーク」
1月9日 [土] 14:00- 入場無料
- 02、「呉屋三四郎 ミニマル ミュージックライブ」
1月16日 [土] 14:00- 入場無料



伊丹市立工芸センター

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558
<http://mac-itami.com>

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分

※駐車場はございませんので、
宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。

主催：伊丹市立工芸センター [公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]

Design_PANTALOON

Art Work_Hideo Kusunoki "172 JAPANESE BIRD-2H-1350-2"